

# - エスロン エスロカチットS 銅管変換アダプター 施工手順書 -

## 適用銅管

JIS H 3000「配管用及び水道用銅管(Mタイプ)」及び JIS H 3330「外面被覆銅管」に適合します。

- ⚠ エスロカチットS側の接続は、カタログ等記載のエスロカチットS施工手順を参照してください。
- ⚠ 管端のバリや継手部材の端面などでケガをする恐れがありますので取り扱いにご注意ください。

## 1 銅管の切断



銅管を銅管用カッターにて管軸に直角になるよう切断してください。  
被覆銅管の場合は、被覆材を管端から 40mm 程度の長さで除去してください。  
銅管の外面にキズや打痕がある場合は、取り除いてください。

- ⚠ 被覆材を剥ぐ際にカッターなどで管にキズが付かないよう注意してください。
- ⚠ 切粉が管内に入らないよう注意してください。

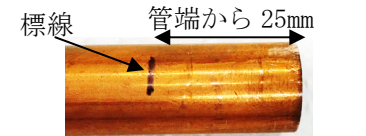
## 2 管端のバリ取り、真円矯正



管端のバリを銅管用のリーマ もしくは バリ取り工具にて除去してください。  
バリ取り後、銅管用の管端修正工具(サイジングツール)にて管端を真円に修正してください。

- ⚠ 管端修正工具は、銅管Mタイプ専用を使用してください。

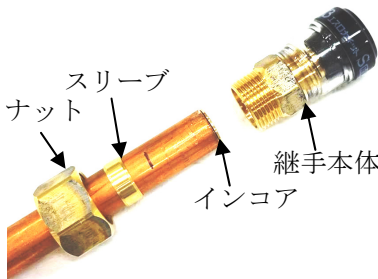
## 3 標線記入



管端から 25mm(15A・20A)の位置にマーキングしてください。

- ⚠ 管端～25mm の範囲にキズや打痕があると漏水の原因となります。

## 4 部材取付と管挿入



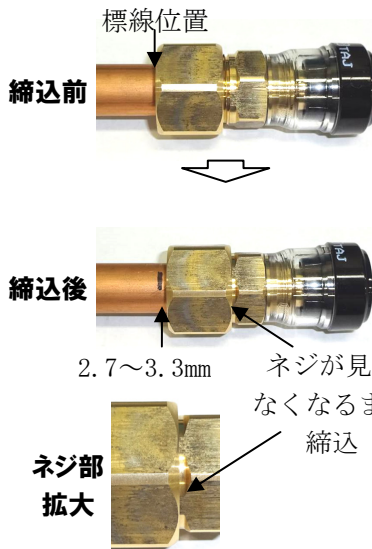
銅管にナット、スリーブ、インコアの順番で取付けた後、管を継手本体に挿入して、ナットを手締めしてください。  
ナット端面と標線が一致することを確認してください。

- ⚠ 必ず継手本体の奥に当たるまで挿入してください。挿入不足は漏水の原因となります。
- ⚠ インコア、スリーブにキズや変形がある場合は継手の使用をやめてください漏水の原因となります。
- ⚠ ゴミや異物がある場合は、取り除いてください。漏水の原因となります。
- ⚠ 管端が曲がっていると部材を取り付けにくくなりますので、真っ直ぐにしてください。

## 5 ナット締め込み

表 締込トルク

呼び径	締込トルク
15A	40N・m
20A	60N・m



右表の締め付けトルクにてナットを締め込んでください。  
ナット端面と標線が 2.7~3.3mm の範囲であり、管の抜けがないことを確認してください。

- ⚠ 締込不足は抜けや漏水の原因となります。
- ⚠ ネジが見えている場合は締込不足です。  
ネジが見えなくなるまでナットを締め込んでください。
- ⚠ 締め付けたナットは緩めないでください。
- ⚠ ナットを過剰に締め込むと、ねじや継手が破損する恐れがあります。
- ⚠ 継手の再使用はできません。

## 6 水圧検査

配管接続後、水圧試験を実施し漏水有無を確認してください。